

第 31 回 全 日 本 カ ッ タ ー 競 技 大 会



日 時 昭和62年 5 月17日(日)
08:30~16:00 (雨天決行)
場 所 神奈川県横須賀市伊勢町海岸沖
主 催 全日本カッター連盟
主 管 防衛大学校
後 援 横須賀市教育委員会
神奈川新聞社 (順不同)

第 31 回 全日本カッター競技大会

主 催 全日本カッター連盟
主 管 防衛大学校
日 時 昭和 62 年 5 月 17 日 (日) 0830-1600
会 場 防衛大学校走水海上訓練場
海 面 横須賀市伊勢町海岸沖
参 加 校 海 技 大 学 校 東 海 大 学
海上保安大学校 東京商船大学
鹿 児 島 大 学 東京水産大学
神奈川歯科大学 長 崎 大 学
神戸商船大学 日 本 大 学
水 産 大 学 校 三 重 大 学
電 気 通 信 大 学 防 衛 大 学 校

会議日程

主将会議

日 時 5 月 16 日 (土) 1400-1600
場 所 防衛大学校学生会館大ホール
参 加 者 各校主将

連盟会議

日 時 5 月 17 日 (日) 1600-1800
場 所 防衛大学校学生会館大ホール
参 加 者 各校顧問および主将主務

第31回 全日本カッター



競技大会を迎えて

防衛大学校長 夏 目 晴 雄

薫風さわやかな5月、第31回全日本カッター競技大会が開催されますことは誠に慶賀に堪えません。

選手諸君は、まさに今日この日に備えて風雨をものともせずそれぞれの地において鉄腕を鍛えてこられたことでありましょう。カッター橈漕は漕手一人一人の心技体の充実はもとより、クルーとして一糸乱れぬチームワークと極限までの力の発揮が要求される競技であります。

どうか諸君が日頃培ってきた実力を遺憾なく発揮され、悔いのない熱戦を展開されるとともに海を愛する青年同志互いに友情を深められんことを切望してやみません。

最後に本大会を開催するにあたり種々御援助・御配慮をたまわりました各位に対し深甚の謝意を表するものであります。

昭和62年5月

大 会 役 員

会 長	防衛大学校	学校長	夏 目 晴 雄
副 会 長	防衛大学校	幹 事	中 俣 壯 一
顧 問	海 技 大 学 校		澄 川 修 一 ✓
	海上保安大学校		小 林 正 幸 ✓
	鹿 児 島 大 学		松 野 保 久 ✓
	神奈川歯科大学		横 田 幸 訓
	神 戸 商 船 大 学		鈴 木 三 郎
	水 産 大 学 校		高 嶋 末 夫 ✓
	電 気 通 信 大 学		石 島 巖 ✓
	東 海 大 学		奥 田 郁 夫 ✓
	東京商船大学		吉 田 卓 也 ✓
	東京水産大学		宮 崎 芳 夫 ✓
	長 崎 大 学		柴 田 恵 司 ✓
	日 本 大 学		平 栗 洋 一 ✓
	三 重 大 学		小 林 裕 ✓
	防 衛 大 学 校		坂 東 勝 昭 ✓

横須賀市稲岡町82

大 会 委 員

大会委員長	田 中 稔
運 営 委 員	
兼審判委員	坂 東 勝 昭

ク ル ー 名 簿

海技大学校

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 澄川 修 一

	氏 名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	小野 尚 宏	本科.1N	168	64	海技大	大分
艇長	◎大手 正 高	特修科.3NC	176	66	口之津	熊本
1	泉谷 隆	特修科.3NC	181	69	早 鞆	山口
2	岡本 敬 二	特修科.3NC	168	66	延岡	宮崎
3	上村 雄 二	特修科.3NC	166	53	門司	鹿児島
4	重松 幸 雄	特修科.3NC	180	99	清水	東京
5	芝草 勝 雄	特修科.3NC	161	66	風間浦	青森
6	下津 卓 司	特修科.3NC	174	63	波方	兵庫
7	中村 則 雄	特修科.3NC	173	70	山川	鹿児島
8	檜崎 均	特修科.3NC	165	52	日大	徳島
9	保手浜 拓	特修科.3NC	170	55	児島	兵庫
10	後藤 啓 司	特修科.3EC	163	48	村上	山形
11	押坂 与 一	特修科.3級INA	164	62	口之津	鹿児島
12	川村 和 也	特修科.3級INA	163	60	清水	高知
補欠	木下 猛 虎	特修科.3級INA	165	55	長崎	長崎
補欠	小林 義 巳	特修科.3級INA	178	78	村上	新潟
補欠	横井 勇 人	特修科.3級INA	174	67	清水	愛知
補欠	水谷 耕 三	特修科.3級INA	171	60	清水	愛知

海上保安大学校

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 小林 正 幸

	氏 名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	◎上村 干 城	4 I	173	67	鶴丸	鹿児島
艇長	伊藤 浩 二	2	181	81	磐田南	静岡
1	佐相 大	2	168	57	市立銚子	千葉
2	倉富 一 樹	2	172	65	日 南	宮崎
3	○天辰 弘 二	4 III	169	64	倉敷南	岡山
4	内村 匡 宏	4 II	179	65	池田	大阪
5	千田 亨	3 II	174	70	函館中部	北海道
6	村田 潔	4 I	176	71	隠岐	島根
7	吉田 満	3 I	187	80	池田	大阪
8	大河内 克朗	3 I	177	72	志布志	鹿児島
9	宮本 伸 二	4 II	171	68	安房	千葉
10	岩男 勝 実	2	172	68	八幡	福岡
11	西山 博	2	172	70	明星	大阪
12	松村 謙 一	2	179	73	岩国	山口
補欠	室田 英 樹	2	168	60	春日部	埼玉
補欠	林 睦	2	175	73	大垣北	岐阜

クルー名簿

鹿児島大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 松野保久

	氏名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	三浦正也	水産(3)	172	65	松山北	愛媛
艇長	森英樹	生物(3)	167	55	北須磨	兵庫
1	柿添太	増殖(3)	167	75	福大大濠	福岡
2	小島直介	化学(3)	173	62	富田	愛知
3	井上存夫	生産(3)	177	65	安古市	広島
4	福永丈人	化学(3)	168	60	玉龍	鹿児島
5	堤明彦	水産(3)	181	70	野津	大分
6	三好睦博	水産(3)	176	62	八幡浜	愛媛
7	白石啓司	水産(2)	170	54	八幡南	福岡
8	五反田晴夫	水産(2)	180	72	玉龍	鹿児島
9	甲斐祐一	水産(2)	170	84	大分上野ヶ丘	大分
10	四宮陽一	水産(2)	167	59	宇和島水産	岡山
11	岡野祥士	水産(2)	170	64	島原	長崎
12	上村淳一	水産(2)	160	60	錦江湾	鹿児島
補欠	小田晋也	水産(2)	164	62	倉敷青陵	岡山
補欠	吉満徹	水産(2)	160	58	鹿児島	鹿児島

神奈川歯科大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 横田幸訓

	氏名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	佐藤宏	歯学科(5)	176	62	七里が浜	神奈川
艇長	角田晃	(3)	179	70	横須賀	神奈川
1	天野健三	(1)	167	60	日大三島	神奈川
2	堀内孝秀	(4)	174	69	北陸	福井
3	杉原義永	(2)	170	61	攻玉社	東京
4	薄井俊郎	(1)	176	75	日立第一	茨城
5	中丸吾郎	(1)	176	68	広島城北	広島
6	杉村大介	(3)	173	71	日大鶴ヶ丘	東京
7	井野智	(5)	178	67	秀明	東京
8	斉藤功	(5)	168	65	甲府一	山梨
9	萩原鉄也	(3)	171	60	秦野	神奈川
10	有働秀一	(1)	180	72	熊本商大附属	熊本
11	阿川純	(4)	167	65	桐朋	埼玉
12	吉岡武史	(4)	170	65	日大一	埼玉
補欠	大原健一	(1)	180	96	三国	福井
補欠	山田幸英	(1)	160	45	日大明誠	東京
補欠	中野仲庸	(1)	168	60	日大高校	神奈川
補欠	殿所大幸	(1)	171	60	宮崎大宮	宮崎

ク ル ー 名 簿

神戸商船大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 鈴木 三郎		氏 名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮		今岡 幸司	横関 (4)	172	65	河 南	大 阪
艇 長		竹下 孝	機関 (4)	167	58	八 幡	京 都
1		山本 光徳	航海 (3)	178	73	宇治山田	三 重
2		中井 秀紀	海洋機械管理 (3)	172	68	東 播 磨	兵 庫
3		鈴木 健司	海洋機械管理 (3)	168	58	河 南	大 阪
4		高野 健司	輸送 (4)	170	60	高 槻 北	大 阪
5		堤 義 晴	航海 (4)	178	73	福岡大大濠	福 岡
6		酒井 文明	機関 (3)	174	64	本 巢	岐 阜
7		海野 昌俊	機関 (2)	180	71	兵 庫	兵 庫
8		境 寛 治	海洋機械管理 (3)	178	72	泉 北	大 阪
9		横井 雅澄	航海 (4)	170	65	岐 山	岐 阜
10		市川 慎太	航海 (2)	171	72	希望ヶ岡	神奈川
11		柏岡 史人	海洋機械管理 (2)	175	72	枚 方	大 阪
12		山田 滋己	輸送 (3)	172	62	星 陵	兵 庫
輔 欠		中須賀 太	機関 (3)	170	57	西宮今津	兵 庫
補 欠		山内 祥敬	航海 (3)	167	64	檀 原	奈 良
補 欠		石橋 康夫	原子動力 (2)	178	60	滝 川	兵 庫
補 欠		樋口 聡	航海 (2)	170	63	東 大 阪	滋 賀

水産大学校

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 高 嶋 末 夫

氏 名		学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	濱崎 日出男	増殖 (3)	165	63	廿 日 市	広 島
艇 長	岩 見 健 司	製造 (3)	178	62	栗 東	滋 賀
1	菅波 健一郎	製造 (3)	168	61	磐 城	福 島
2	曾 根 一 之	製造 (3)	170	67	福 山	広 島
3	◎中 島 哲 郎	増殖 (3)	167	63	小 岩	東 京
4	吉 田 賢 治	製造 (3)	175	70	倉 吉 西	鳥 取
5	永 井 吉 之	漁業 (3)	170	67	金 沢 西	石 川
6	鶴 田 悟 志	漁業 (3)	175	77	甲 府 西	山 梨
7	中川 登志行	増殖 (3)	178	79	大 手 前	大 阪
8	飯 田 悦 朗	機関 (3)	176	74	南 多 摩	東 京
9	真 鍋 卓 司	機関 (3)	170	67	城 ノ 内	徳 島
10	富 永 修 司	製造 (3)	176	74	八 女	福 岡
11	○土 橋 猛	漁業 (3)	165	64	東邦大付属東邦	千 葉
12	柊 谷 龍 哉	増殖 (3)	167	59	明 星	奈 良
補 欠	藤 田 龍 一	機関 (2)	170	86	舞 子	兵 庫
補 欠	小田原 裕二	製造 (2)	172	67	延 岡 西	宮 崎
補 欠	若 林 道 彦	漁業 (2)	175	72	旭	大 阪
補 欠	永 田 昭 広	増殖 (2)	169	62	島 本	大 阪

ク ル ー 名 簿

電気通信大学

顧問 石 島

巖

◎印主将 ○印マネージャー

	氏 名	学科(学年)	身 長	体 重	出 身 校	出身地
艇指揮	大 場 満太郎	電波情報 (3)	175	75	古 川	宮 城
艇 長	河 野 真	電波情報 (3)	178	70	綾 瀬	神奈川
1	宮 地 泰 智	電波情報 (2)	173	63	富士河口湖	山 梨
2	長谷川 純	電波情報 (3)	168	61	一 橋	東 京
3	池 田 丈 人	電波情報 (2)	165	55	攻 玉 社	東 京
4	稲 葉 秀 樹	通信専攻科(1)	168	70	石 巻	宮 城
5	渡 辺 栄	電波情報 (4)	178	70	久留米西	東 京
6	川 本 廣 行	通信専攻科(1)	170	55	大 島 南	東 京
7	吉 田 義 明	情報処理 (4)	175	75	志 布 志	鹿児島
8	野 路 幸 弘	通信専攻科(1)	170	70	荏 田	神奈川
9	永 尾 治 義	電波情報 (4)	178	70	東工大附属	東 京
10	鍋 田 有 正	電波情報 (3)	172	80	鶴 岡 工	山 形
11	須 田 和 浩	電波情報 (3)	178	70	船 橋 西	千 葉
12	服 部 正	電子工学 (2)	170	60	村 上	新 潟
補 欠						
補 欠						
補 欠						
補 欠						

東 海 大 学

顧問 奥 田 郁 夫

◎印主将 ○印マネージャー

	氏 名	学科(学年)	身 長	体 重	出 身 校	出身地
艇指揮	熊 川 隆	海洋工学科	176	72	安 古 市	広 島
艇 長	水 谷 友 彦	海洋科学科	175	75	五 条	愛 知
1	喜多川 洋	航海工学科	186	117	市 川 北	東 京
2	上 出 透	航海工学科	177	77	星 稜	石 川
3	北 本 洋 介	航海工学科	178	75	道立湖陵	北海道
4	中 内 司	航海工学科	177	70	城 南	徳 島
5	藤 木 淳一郎	水 産 学 科	175	68	東海大相模	東 京
6	大 城 清 泰	航海工学科	178	77	浦 添	沖 縄
7	松 岡 耕 二	海洋科学科	175	72	サレジオ	東 京
8	宮ノ下 修 学	海洋土木学科	168	60	宮崎日本大学	宮 崎
9	芋 田 芳 信	航海工学科	175	75	大阪清風	奈 良
10	富 田 直 三	航海工学科	172	58	鷺 宮	東 京
11	宮 迫 剛	航海工学科	175	68	別府鶴見丘	大 分
12	吉 永 淳	船舶工学科	170	59	尼崎小田	兵 庫
補 欠	柏 谷 好 一	海洋科学科	170	60	山口中央	山 口
補 欠	矢 島 宗 宏	水 産 学 科	180	78	越 谷 西	埼 玉
補 欠	鈴 木 一 守	航海工学科	170	65	芝浦工大附属	東 京
補 欠	大 岩	航海工学科	178	74	東海大浦安	東 京

ク ル ー 名 簿

東京商船大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 吉田卓也		氏名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮		鐘ヶ江 淳一	航海 (3)	172	68	福岡	福岡
艇長		佐光 佳仁	機関 (4)	165	65	高鍋	宮城
1		佐野 正和	運送工学 (3)	171	64	帯広柏葉	北海道
2		小林 猛将	航海 (4)	170	63	盛岡第一	岩手
3		竹内 晃治	航海 (4)	172	68	豊橋南	愛知
4		大橋 宏明	機関 (3)	172	61	小金	千葉
5		下川 主税	機関 (4)	180	75	熊本商科大附属	熊本
6		金田 和彦	機関 (4)	172	65	両津	新潟
7		脇 修一	航海 (3)	174	65	府中西	東京
8		鵜山 久	航海 (3)	170	67	追浜	神奈川
9		米盛 隆信	機関 (4)	176	68	玉龍	鹿児島
10		勝田 浩二	航海 (4)	171	60	豊津	福岡
11		高橋 進	船用制御工学 (3)	171	63	静岡南	静岡
12		小島 一悦	航海 (3)	171	57	愛知教育大附属	愛知
補欠		高見 隆昌	航海 (2)	169	68	熊本	熊本
補欠		飯塚 尚史	航海 (2)	176	87	五領ヶ台	神奈川
補欠		松川 清	航海 (2)	180	68	札幌月寒	北海道
補欠		中嶋 隆幸	航海 (2)	175	66	札幌月寒	北海道

東京水産大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 宮崎芳夫		氏名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮		秋羽 教弘	水産養殖 (4)	170	74	北園	東京
艇長		遠藤 有	食品工学 (4)	181	75	城南	福岡
1		梶原 天	水産養殖 (4)	168	66	横浜平沼	神奈川
2		古賀 淳司	漁業生産工学(3)	169	68	熊本マリスト学園	福岡
3		小泉 博由	食品工学 (3)	170	70	小田原	神奈川
4		柏山 浩史	漁業生産 (4)	175	70	児島	岡山
5		天勝 啓介	水産養殖 (3)	174	72	桃山学院	大阪
6		安斎 保利	漁業生産 (3)	175	69	宇都宮東	栃木
7	◎岡	野 勲	水産養殖 (4)	177	73	久美浜	京都
8	○藪	崎 秀人	漁業生産 (4)	170	74	県立船橋	千葉
9		渡辺 岳志	資源増殖 (3)	170	70	古河第三	埼玉
10		鈴木 幹久	漁業生産 (3)	171	68	岡山一宮	岡山
11		田代 充	海洋環境工学(3)	173	69	高田	新潟
12		大須賀 寧	漁業生産工学(3)	168	66	千歳	東京
補欠		安接 直人	海洋環境工学(4)	174	62	高志	福岡
補欠		竹下 千代太	漁業生産工学(3)	173	60	長崎東	長崎
補欠							
補欠							

ク ル - 名 簿

長崎大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 柴田 恵司

	氏 名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	浜崎 博樹	漁業 (4)	168	65	長崎水産	長崎
艇長	峰 寛明	水産 (2)	170	75	札幌清田	北海道
1	貝原 慎吾	漁業 (3)	175	61	倉敷南	岡山
2	丸山 修司	漁業 (4)	173	70	大分鶴崎	大分
3	斉藤 進一	水産 (2)	183	74	水城	茨城
4	松下 明雄	水産 (2)	176	80	上五島	長崎
5	井手 隆幸	漁業 (3)	173	70	福岡水産	福岡
6	筒井 実樹	生産 (3)	175	64	静内	北海道
7	小峰 直樹	生産 (3)	170	67	横須賀	神奈川
8	永田 太郎	漁業 (4)	175	75	長崎北	長崎
9	鈴江 太造	水産 (2)	170	72	隠岐水産	島根
10	金谷 和彦	水産 (2)	169	65	東陵	京都
11	岡部 賢志	漁業 (3)	171	63	熊本水産	熊本
12	津方 秀一	漁業 (3)	160	62	天草	熊本
補欠	阿部 隆之	水産 (2)	176	71	大分上野ヶ丘	大分
補欠	橘 春樹	水産 (2)	160	62	宮崎大宮	宮崎
補欠						
補欠						
補欠						

日本大学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問 平栗 洋一

	氏 名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	古谷 誠	(4)	172	78	日大豊山	東京
艇長	森沢 竜司	(4)	172	76	日大一高	東京
1	栗井 克明	(4)	172	69	小平西	東京
2	川内 省三	(4)	171	67	日大大垣	岐阜
3	大隣 史郎	(2)	173	62	錦江湾	鹿児島
4	井上 彰	(3)	165	82	日大豊山	埼玉
5	育戸 覚郎	(4)	174	73	呉	広島
6	田中 二郎	(2)	169	73	日大鶴ヶ丘	東京
7	篠田 政己	(2)	167	72	日大鶴ヶ丘	東京
8	青木 照光	(4)	171	63	春日井西	愛知
9	田中 重光	(2)	160	66	鎌倉	神奈川
10	大門 憲一	(2)	162	62	本郷	東京
11	福岡 浩純	(3)	158	56	日大一高	神奈川
12	勝間 宏尚	(3)	164	64	日大高校	東京
補欠	小池 寛之	(3)	174	53	希望ヶ丘	神奈川
補欠						
補欠						
補欠						
補欠						

ク ル ー 名 簿

三 重 大 学

◎印主将 ○印マネージャー

顧問		小林 裕					
	問	氏 名	学科(学年)	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮		可 知 隆	水産 (3)	180	72	長久手	愛知
艇長		小 池 直 樹	水産 (4)	160	56	北	愛知
1		田 中 誠	人文 (2)	165	58	広	広島
2		松 下 宏 一	水産 (1)	176	65	伊 東	静岡
3		衣 川 慶 二	水産 (2)	185	79	乙 訓	京都
4		山 本 祥一郎	水産 (2)	176	68	撰 津	大阪
5		宮 松 篤	医 (3)	181	69	九十九里浜	千葉
6		高 坂 公一郎	教育 (3)	175	75	四 日 市	三重
7		高 柳 コウジ	機械 (4)	176	65	岡 崎	愛知
8		浜 地 則 幸	教育 (4)	183	68	宇治山田	三重
9		藤 井 猛	機械 (4)	182	78	佐 賀	佐賀
10		伊 藤 暁	建築 (3)	180	70	神 戸	三重
11		高 橋 浩 二	水産 (3)	175	75	知 多	愛知
12		市 川 淳	機械 (4)	170	62	五 条	愛知
補欠							
補欠							
補欠							
補欠							

防 衛 大 学 校

◎印主将 ○印マネージャー

顧問		坂 東 勝 昭						
		氏 名	学科(学年)	身 長	体 重	出 身 校	出身地	
艇指揮	◎川 本 理		航空工学 (4)	168	72	札幌旭ヶ丘	北海道	
艇長	飯 島 智		航空工学 (4)	159	53	墨 田 川	東京	
1	関 和 夫		電気工学 (4)	169	72	福大大濠	福岡	
2	松 尾 卓 治		電気工学 (4)	174	63	大 村	長崎	
3	田 中 修		管 理 学 (4)	171	76	甲 南	鹿児島	
4	大 竹 繁 雄		電気工学 (3)	172	72	小 坂 井	愛知	
5	浅 野 正 尚		管 理 学 (3)	173	72	高知学芸	高知	
6	田 村 利 之		応用物理 (4)	175	69	尼 崎 北	兵庫	
7	刀 根 啓 太		電気工学 (3)	176	80	皇 学 館	三重	
8	藤 本 真 臣		航空工学 (4)	174	69	岐 阜	岐阜	
9	山 内 康 司		航空工学 (4)	170	65	福大大濠	福岡	
10	佐々木 龍太郎		電気工学 (4)	179	63	福大大濠	福岡	
11	三 塚 克 也		管 理 学 (3)	164	63	東北学院	宮城	
12	田 中 良 典		応用化学 (4)	163	57	福 島 東	福島	
補 欠	竹 田 保		電気工学 (4)	170	63	国 分	鹿児島	
補 欠	藤 原 秀 幸		機械工学 (3)	174	70	姫 路 東	兵庫	
補 欠	佐 藤 豊		電気工学 (3)	180	67	東 大 和	東京	
補 欠	濱 崎 勝 志		機械工学 (3)	174	63	鹿 屋	鹿児島	

審 判 規 定

- 1 審判規則は、全日本カッター連盟審判規則による他、次のとおりとする。但し、同規則第2項及び、第5項は除く。
- 2 スタートに関する規定
 - (1) スタートライン進入要領
機動艇に曳航されてスタートライン上を航過中の競技艇は、努めて、機動艇の航跡を進むものとする。スタート前、故意にゴール方向に占位し、又は、ゴール方向に回頭惰力をつけるような行為をしてはならない。審判長は、これらの行為に対し「警告」を与える。
 - (2) スタート要領
 - ア スタート時における号令及び信号は、別に定めるとりとする。
 - イ クルーの不注意に起因する遅滞については、これを考慮しない。
- 3 レースに関する規定
 - (1) コース南側の黄色マークブイの陸岸側を航過した場合は、失格とする。
 - (2) 競技の円滑な進行及び保安警戒等のため、審判員が必要と認めた場合は、「警告」を発する。
 - (3) 「警告」を2回受けたクルーは、失格とする。「警告」を受けたクルーの艇指揮は、了解符（赤の手旗を頭上で左右に振る）を審判員に送るものとする。
- 4 敗者復活レースに関する規定
 - (1) 敗者復活レースは、各予選レースにおいて2位及び3位のクルー6艇で実施する。
 - (2) 敗者復活レースにおいて1位、2位、3位になったクルーは、決勝に進出する。

全日本カッター連盟審判規則（昭和56年5月31日）

- 1 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
- 2 スタート
 - (1) 各艇は、指定の時刻、コースに従い、スタートラインに整列する。
 - (2) 5分前をマイクにより通達、スタートブイにつく。ブイにつき用意が完了したら艇長は審判員に白旗を直立し合図する。
 - (3) スタート用意
号笛短声連続、手旗2原画、号笛長1声手旗頭上より1回転する。
 - (4) スタート
頭上の手旗を垂直に振り下ろすと同時に号砲を撃つ。
- 諸信号、審判艇コース横断
- 4 スタートにおける号令前の飛び出し及び艇の事故によるスタートの遅速等により正常なスタートができないときはスタートをやり直すが、2回目に正常なスタートを行なわなかった艇は、それが1回目と同一艇であると否とにかかわらずその艇は失格とする。
- 5 回頭は左回頭とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合及び回頭旗に艇又はオールの一部でも接触した場合は失格である。
- 6 ゴール
艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし、順序は審判員が判定する。
- 7 同着の場合は追い込み艇の勝ちとする。
- 8 ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
- 9 各艇は自己のコースを航行し、もしこれを誤って他の艇に接触、その他不正行為があったと審判員の認めたときには失格とする。
- 10 レース中のコースにおける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他、各艇自らこれらを忍ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでないときもある。
- 11 レースに関する異議申し立て等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
- 12 オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
- 13 補欠は2名以内自由に交替できる。
- 14 オールは流したままゴールインしてよい。
- 15 本審判規則における失格とは当該レースのみに関するものであり、その成績は当該レースの最下位とみなす。

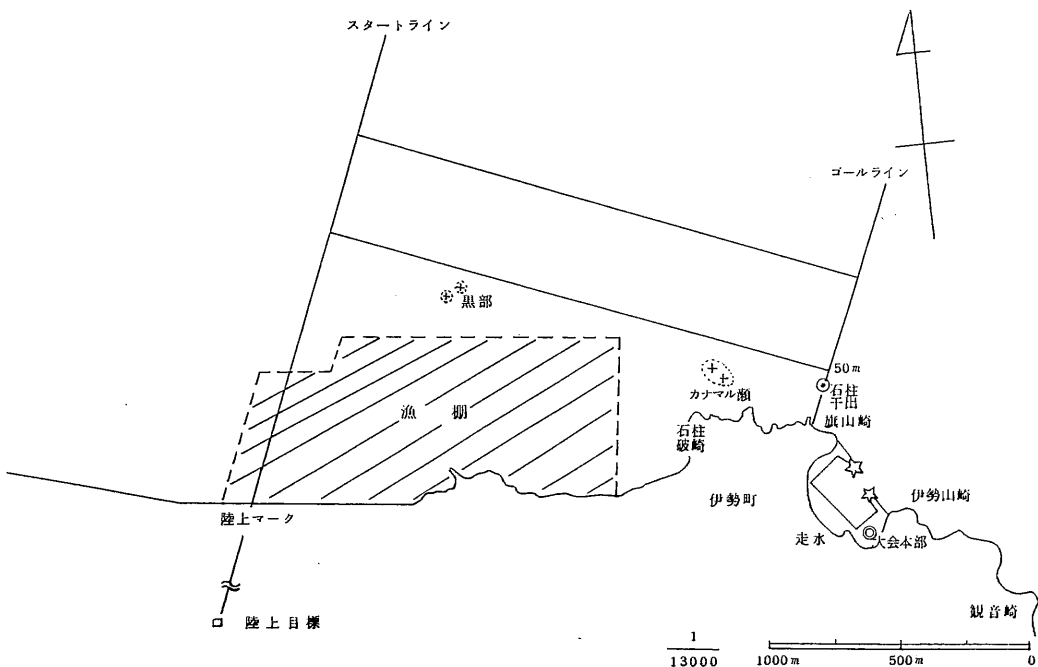
レースの手引

本大会に使用される艇は長さ9 m 12人漕ぎのカッターである。救命艇として使用されるものであるが一般のそれは艀艇同型であるのに対し、艀を切落して外観は普通の舟艇と変わらない。艇は外板鍍張りの木製で、オール12本(各々長さ約4.3 m、握りの直径7.6 cm、重さ8ないし9 Kgである)マスト、セール等の艀装品を備え帆走も可能である。漕手はCrewと呼ばれ、艇尾より艇首に向かって、右側の者が1番、同じく左側の者が2番、以下交互に3・4～11・12番と続き、1・2番をBowmen、11・12番をStrokemenと称している。Strokemenは櫂漕のピッチを加減する任務を持つ。艇尾で舵を握るのが艇長で指揮号令をかけ指揮するのが艇指揮である。艇指揮は艇のすべての指揮を行ない船長に相当する。

レース距離は、2000 mの直線コースで行う。各艇は、曳航艇に曳航され、コースのスタートラインに進入し、号砲の信号により各艇は曳航索を切り左90度に回頭し、レースを開始する。ゴールは艇首がゴールラインに達した時とする。予選は各グループ4又は5チームで実施する。

各グループの優勝チーム及び敗者復活戦で1位・2位及び3位となった計6チームによって最後に優勝戦が行なわれる。レースはいづれも時間的ずれによる海況の変化等の影響のためにタイムレースでなく着順位である。ピッチ(1分間に漕ぐ回数)は大体25前後であるが各チームとも漕法の研究を重ねているので必ずしも一定でなくそれぞれ特色のある漕法によるピッチを持っている。レース所要時間は10分余であるが、しかし救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行なわれ、そのような場合には30分にも及ぶことがある。カッターレースは10分余の間、一瞬といえども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。レースの見所は、ピッチをいくかに定めるかスタートダッシュ、回頭、ラストスパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等たゆまぬ練習、シーマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

競 技 コ ー ス (海 面)



L. 14. 133/

天候 雨 のち曇 風向

風速

波浪

時 刻	種 目	コ ー ス	校 名	艇	着 順	タ イ ム
0845 開 会 式						
1010 小雨	予選第1レース	1	神奈川県医科大学	11	4	12-07
		2	海技大学校	14	5	12-34
		3	日本大学	22	3	11-18
		4	東京水産大学	41	1	10-27 0
		5	東京商船大学	44	2	10-36
1045 曇 風弱	予選第2レース	1	海上保安大学校	12	3	11-17
		2	長崎大学	21	4	11-22
		3	電気通信大学	23	5	13-32
		4	水産大学校	24	2	10-52
		5	神戸商船大学	31	1	10-43 0
1120	予選第3レース	1	鹿児島大学	11	2	11-13
		2	三重大学	14	3	11-23
		3	駒澤大学校	22	1	10-38 0
		4	東海大学	41	4	11-45 5
昼 食 ・ 休 憩						
1335 雨 本降り	敗者復活レース	1	海保大	8	5	12-37
		2	三重大	4	4	12-27
		3	水産大	3	3	12-23 1
		4	日大	8	6	12-50
		5	東商大	4	1	12-17 1
		6	鹿児島大	25	2	12-21 1
1415	順位決定レース	1	海技大		4	14-35
		2	神島大		3	13-55
		3	長崎大		2	13-04
		4	東海大		1	12-50
		5	電通大		5	15-31
1455	決勝レース	1	東商大		5	12-52
		2	東水大		3	12-26
		3	防衛大		1	12-04
		4	神商大		2	12-24
		5	鹿児島大		6	12-52
1545	閉		水産大	式	4	12-48

風
北東
3~4m

下
り
波

1~2m

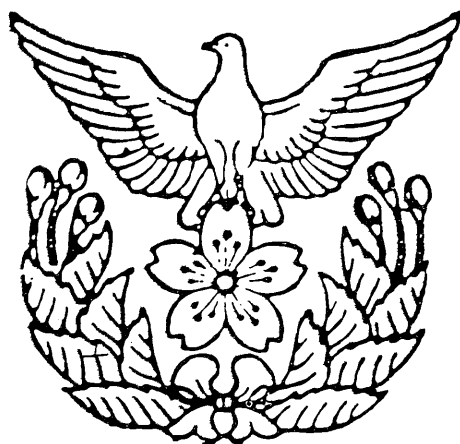
曇
風弱

0

軽
艇
133/

風
無

上
り
潮



編集 / 発行 防衛大学校